



へいせい ねん ねん がつ にち にちようび
平成30年（2018年）4月8日 日曜日

ぶんしょう はら こ
文章：ボランティア 原のり子さん

まいとしこうれい りょこう はなび かいせい めぐ とうじつ
毎年恒例のバス旅行。花冷えながら快晴に恵まれた当日でした。

ちゅうごく がくしゅうしゃ こ ひとり にほんじん
インドネシア、中国、ベトナム、ペルー、ミャンマーの学習者さんとお子さん一人、そして日本人の
ボランティアで、総勢51名が参加。財団の柴垣さんと森脇さんの見送りを受けて、バスの運転手さんの
あんぜんうんてん しゅっぱつ
安全運転で出発。



しゃない あたら し あ ふ
車内では、新しい知り合いを増やせるよ
せきが ぼこくご きま
うに席替えをしました。母国語での気まま
かいわ たの わら こえ しゃそう ち
な会話と、楽しげな笑い声。車窓には、散
はじ さくら はるかぜ
り始めた桜と春風。
はくしょくしょめい あか まいご
白色照明で明るい「舞子トンネル」を

抜けて、世界最長3911mの「明石海峡大橋」を渡りました。大橋の上から
うみ い ふね ちい
は、海に行く船が、小さくおもちゃのように見えっていました。



とちゅう あわじゆめ ぶたい こくえいあかしかいきょうこうえん もら しめん み けんがく そだん
途中で淡路夢舞台・国営明石海峡公園のガイドブックを貰うと、紙面を見ながら、見学のコースを相談
する声がにぎやかに響きました。



大きな観覧車が目印の「淡路インターチェンジ」で休憩。新しくキレイで快適なトイレ。すぐそばの「道の駅 淡路」で、明石海峡大橋と青い海を背景に全員で記念撮影。春の風物詩「こうなごの甘煮」や、名物「タコせんべい」の味見もおいしく、楽しみました。



いよいよ「淡路夢舞台」・「国営明石海峡公園」に到着。バスを降りて、団体入場券を受け取って入場します。たっぷり3時間自由に散策と昼食。当日は再入場もできるので、入場券をなくさないようにとのこと。入場してすぐに目をひく、大きな赤いタコトピアリー、足元に満開の色とりどりチューリップ、黄色や白色のビオラ、紫色のムスカリ、濃い桃色のシャクナゲ、水色の小花ネモフィラなど、あふれる色に圧倒されました。新しく知り合った学習者さんと、草の上でにぎやかにお弁当を食べました。おにぎりや

お菓子、果物を、全員と分けあってご馳走になりました。

少し肌寒かったけど、オランダの民族衣装を試着した人達や、池の鴨の写真を撮ってみたり、広い園内を歩き回ったり、スワンボートに乗って池から眺めたりと、本当に楽しみました。



明石海峡公園を出て、淡路夢舞台の中腹にある「百段苑」にも登ってみました。階段で区切られた100マスの花壇でした。金盞花やじやが芋、ブロッコリーなどの野菜も植えてありました。結婚式の写真を

撮影中の新郎新婦にも出会いました。「おめでとうございます」との学習者さんからの声に、嬉しそうなお二人の笑顔が輝いていました。

またフランスから来日された観光客に英語で話しかけられたボランティアさんもいました。「話をすると、世界が広がる」文字通りの体験となりました。階段の登り降りでちょっとツラい百段苑からは、穏やかな春の海と行き交う船、神戸、関西国際空港まで見渡せました。その空港は学習者さん達が、「日本に初めて降り立った印象深い空港」との話を聞きました。



再入場した公園ではお子さんが、お父さんに抱っこされてお昼寝中。満足して気持ち良さそう。

次の「あわじ花さじき」へは、太陽光発電パネルの設置地や高さ120mもの6基の風力発電の大きなプロペラが回っている様子を眺めながら、藤紫の山ツツジの咲き始めた一本道を進みました。

小高い丘にあるあわじ花さじきは、斜面全体に咲き誇る黄色い菜の花とアクセントの紫色のムラサキハナガが見事でした。パステル色の小花が咲くりナリアも咲いていました。菜の花の香りに包まれて、花の小道を歩き、沢山の写真を撮る学習者さんと一緒に童心に返って楽しみました。坂道を登るのに疲れ、若い学習者さんに置いていかれそうになりました。来合わせた人の飼い犬を触らせてもらったり、NHK朝の連続テレビ小説(朝ドラ)「あさが来た」の最終回のロケ地となった時のパネルを眺めたり、360度見渡せる展望デッキに登ったり・・・と学習者の皆さんもボランティアさんも、旅先での出会いを満喫されたようでした。

帰りのバスは、夢の中でも観光しているわたくし達を乗せて、順調にイーグレ姫路をめざしました。予定より早く帰りつくと、柴垣さんと森脇さんがお迎えしてくださいました。全員が怪我もなく楽しい旅で、沢山の季節の花と大勢の学習者さん達に触れ合えて大満足でした。



日本という外国で暮らす学習者の皆さんと、母国である日本・姫路がより身近になれるよう日本語ひろばでの出会いを、大切にていきたいと改めて感じました。参加できなかった皆さん、次の機会には参加しないと「もったいない」ですよ。